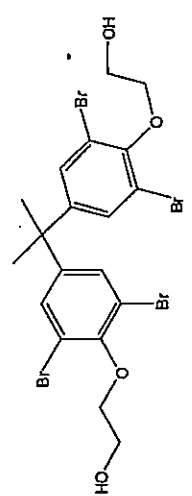


分解度試験報告書

1. 一般的事項

新規化学物質等の名称 (IUPAC 命名法による)	2, 2'-[4, 4'-(プロパン-2, 2-ジイル)ビス(2, 6-ジプロモフェエノキシ)]ジエタノール	
別名		
CAS番号	4182-45-2	
構造式又は示性式 (いずれも不明な場合は、 その製法の概要)		
分子重量	631.98	
試験に供した新規化学物質の純度(%)	99.0%	
試験に供した新規化学物質のロット番号	ALQ0790	
不純物の名称及び含有率(%)	不明 1.0%	
薬気	データなし	
対水溶解度	1.0mg/L未満	
1-オクタノール/水分配係数	データなし	
融点	120℃	
沸点	—	
常温における性状	白色粉末	
安定性	室温安定	
溶媒に対する溶解度等	溶媒	溶解度
	アセトニトリル	1.0×10 ⁴ mg/L以上
	溶媒中の安定性	安定

2. 試験方法

試験方法	化審法ガイドラインおよびOECD Guideline for Testing of Chemicals 301C
暴露期間(日)	28日
汚泥の種類	標準活性汚泥 平成21年1月15日受け入れ(ロットNo.S-141)
被験物質濃度	1.0mg/L
汚泥の懸濁物質濃度	30mg/L
PH調整	有・無

3. 試験結果

(1) BODチャート

*別添としても良い。

Fig. 1 Chart of BOD 参照

(2) BOD測定結果

試験容器	BOD (mg)				
	測定日	7日目	14日目	21日目	28日目
[水+被験物質]系	No.1	2.7(0.0)	2.7(0.0)	2.7(0.0)	6.0(0.0)
[汚泥+被験物質]系	No.1	3.1(0.4)	3.4(0.7)	4.2(1.5)	8.8(2.8)
	No.2	3.5(0.8)	4.6(1.9)	5.4(2.7)	10.5(4.5)
	No.3	3.5(0.8)	4.5(1.8)	5.5(2.8)	10.8(4.8)
[汚泥+アニリン]系		55.1(62.4)	67.2(64.5)	68.9(66.2)	74.0(68.0)
汚泥ブランク系		3.3(0.6)	3.4(0.7)	4.1(1.4)	9.2(3.2)

() 内は、水系における値を差し引いた値 (外気圧の影響によりすべての系、同時にBOD上昇があったため)

(3) 測定結果 (28日後の値)

測定項目	[汚泥+被験物質]系			仕込み理論量		
	No.1	No.2	No.3			
BOD *1	mg	0.0	1.3	1.6	6.0	33.3
DOC *1	mg	—	—	—	—	—
被験物質	mg	30.0	29.9	29.9	30.0	30.0
残留量及び残留率 (RPLC)	%	100	100	100	100	—

*1: [汚泥+被験物質]系は汚泥ブランク系の値を差し引いて表示した。(臭の値の場合は0.0とした。)

(4) 分解度

測定項目	[汚泥+被験物質]系			平均値	
	No.1	No.2	No.3		
BOD分解度	%	0	4	5	3
DOC分解度	%	—	—	—	—
被験物質分解度 *2	%	0	0	0	0

*2: RPLC測定結果から下式により算出した。

([水+被験物質]系残留量 - [汚泥+被験物質]系残留量) / ([水+被験物質]系残留量) × 100

4. 回収率 (平均値)

系	回収率 (%)
[水+被験物質]系	101
[汚泥+被験物質]系	100

5. 考察

*可能な限り、本試験結果の考察（本試験物質の生分解性について）を記載してください。
 *特に変化を生じた場合には物質収支等について記載してください。
 28日間の分解度試験の結果、分解度は、BOD測定において平均3%、HPLC測定において平均0%であった。
 培養期間中に閉鎖系酸素消費量測定装置が、外気圧の変化による影響を受け、すべての系において同時にBODの上昇があったため、本来、酸素消費のない水系における値を差し引くことによりBOD分解度を算出したが、結果はかわらなかった。
 以上の結果より、被験物質は微生物等により分解されないと考えられる。

6. その他

試験実施施設	富士フイルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター 神奈川県南足柄市中沼210 電話 0465 (73) 7440 FAX 0465 (73) 7975
試験責任者	職氏名 _____ 経験年数 13年
試験番号	B-005/08003
試験期間	平成21年1月15日 から 平成21年3月12日 まで

作成責任者	富士フイルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター
氏名	_____

Study No. B-005/08003 (Test item J-08-026)

Cultivating conditions:

Concentration
 Test item 100 (mg/L)
 Reference item (aniline) 100 (mg/L)
 Activated sludge 30 (mg/L)
 Temperature 25 ± 1 °C
 Duration 28 days (Jan.22 - Feb.19,2009)

Note:

Vessel No.	Sample Description	BOD (mg)				
		7th day	14th day	21st day	28th day	
[1]	Sludge + test item	3.1	3.4	4.2	8.8	
[2]	Sludge + test item	3.5	4.6	5.4	10.5	
[3]	Sludge + test item	3.5	4.5	5.5	10.8	
[4]	Water + test item	2.7	2.7	2.7	6.0	
[5]	Sludge + aniline	55.1	67.2	68.9	74.0	
[6]	Control blank [9]	3.3	3.4	4.1	9.2	

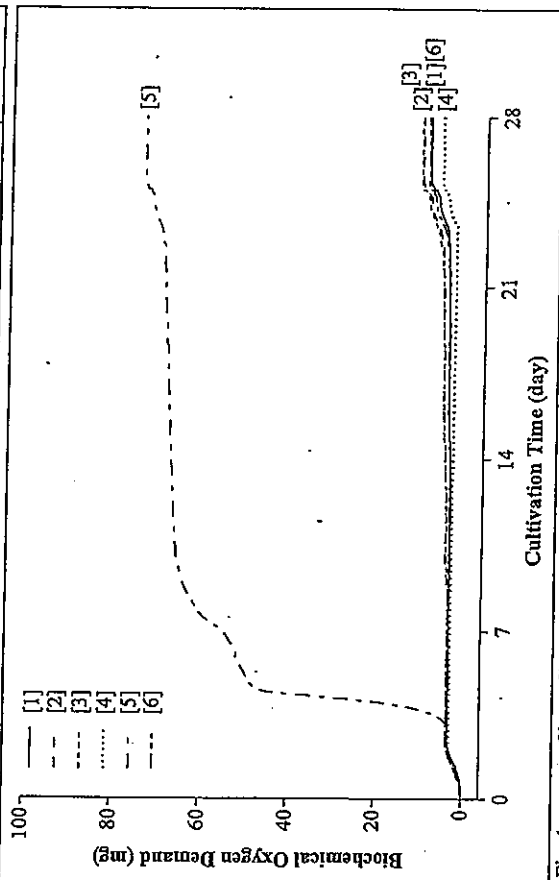
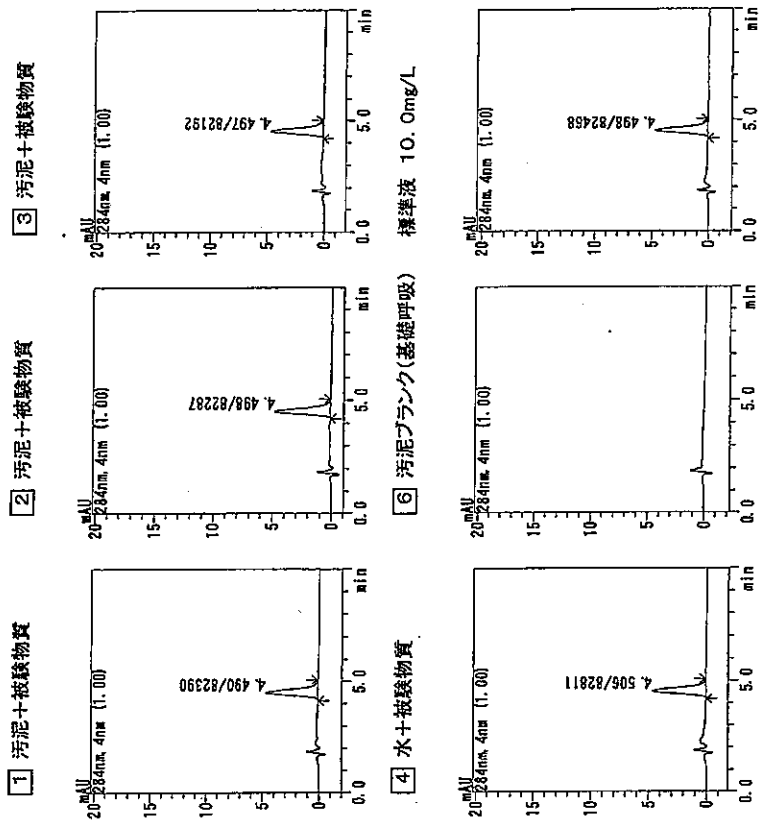


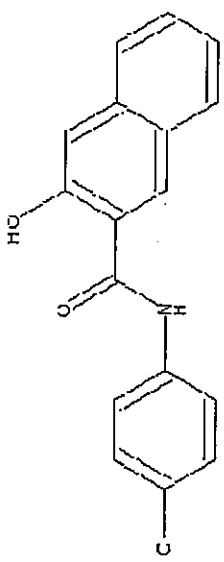
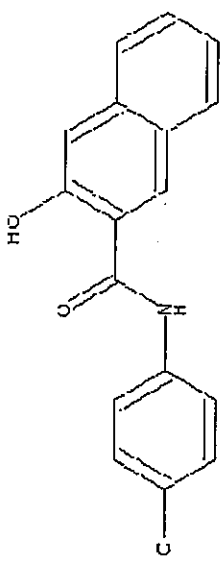
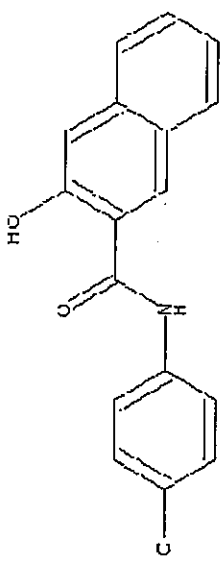
Fig. 1 Chart of BOD.

Name _____

Fig. 4 培養終了後のHPLCチャート

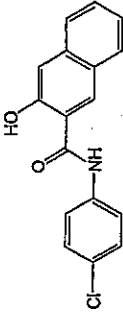
被験物質No.: J-08-026 測定日: H21. 2. 19
 バッチNo. : ALQ0790 測定者:



整理番号 5-2279 (K-1840)	分解度試験		分解度試験		分解度試験	
4'-クロロ-3-ヒドロキシ-2-ナフトアニリド(別名 アゾイックCC10) (CAS: 87609-25-9)	事業対象年度 平成20年度	事業対象年度 平成 年度	事業対象年度 平成 年度	事業対象年度 平成 年度	事業対象年度 平成 年度	事業対象年度 平成 年度
	試験期間 H21.1.23~H21.3.16	試験期間	試験期間	試験期間	試験期間	試験期間
	試験装置 (標)・揮	試験装置	試験装置	試験装置	試験装置	試験装置
	試験濃度	試験濃度	試験濃度	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 28日間	本試験期間	本試験期間	本試験期間	本試験期間	本試験期間
	試験結果	試験結果	試験結果	試験結果	試験結果	試験結果
	間接 BOD 1% (1, 1, 2)	間接	間接	間接	間接	間接
	直接 HPLC 0% (0, 0, 0)	直接	直接	直接	直接	直接
	審査部会 第89回	審査部会 第 回	審査部会 第 回	審査部会 第 回	審査部会 第 回	審査部会 第 回
	平成21年10月23日開催	平成 年 月 日開催	平成 年 月 日開催	平成 年 月 日開催	平成 年 月 日開催	平成 年 月 日開催
	判定案 難分解性	判定	判定	判定	判定	判定
	備考	備考	備考	備考	備考	備考
	1.回収率 (汚泥+被験物質)系 99%					
	2.実施機関 富士フイルム株式会社					
構造式(示性式)・物理化学的性状	4'-クロロ-3-ヒドロキシ-2-ナフトアニリド		4'-クロロ-3-ヒドロキシ-2-ナフトアニリド		4'-クロロ-3-ヒドロキシ-2-ナフトアニリド	
						
	分子式 C ₁₇ H ₁₂ ClO ₂	分子式 C ₁₇ H ₁₂ ClO ₂	分子式 C ₁₇ H ₁₂ ClO ₂	分子式 C ₁₇ H ₁₂ ClO ₂	分子式 C ₁₇ H ₁₂ ClO ₂	分子式 C ₁₇ H ₁₂ ClO ₂
	分子量 297.74	分子量 297.74	分子量 297.74	分子量 297.74	分子量 297.74	分子量 297.74
純度 97.8%	外観 亜麻色粉末	外観 亜麻色粉末	外観 亜麻色粉末	外観 亜麻色粉末	外観 亜麻色粉末	外観 亜麻色粉末
不純物(物質名,含有率) 不明	溶解度(対水,その他) -	溶解度(対水,その他) -	溶解度(対水,その他) -	溶解度(対水,その他) -	溶解度(対水,その他) -	溶解度(対水,その他) -
融点 264℃	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -	1-オクタノール/水分配係数 -
沸点 -	安定性 -	安定性 -	安定性 -	安定性 -	安定性 -	安定性 -
密度 -	チャートの有無 有・無	チャートの有無 有・無	チャートの有無 有・無	チャートの有無 有・無	チャートの有無 有・無	チャートの有無 有・無
LD50 -	用途 -	用途 -	用途 -	用途 -	用途 -	用途 -
製造及び輸入量(年) -						
試料						
経済産業公報発表年月日						

分解度試験報告書

1. 一般的事項

新規化学物質等の名称 (IUPAC 命名法による)	N-(4-クロロフェニル)-3-ヒドロキシナフタレン-2-カルボキサミド		
別名	—		
CAS番号	92-78-4		
構造式又は示性式 (いずれも不明な場合は、 その製法の概要)			
分子	297.74		
試験に供した新規化学物質の純度(%)	97.8%		
試験に供した新規化学物質のロット番号	3E08B		
不純物の名称及び含有率(%)	不明 2.2%		
蒸気圧	データなし		
対水溶解度	1.0mg/L未満		
1-オクタノール/水分配係数	データなし		
融点	264°C		
沸点	—		
常温における性状	面状粉末		
安定性	室温安定		
溶媒に対する溶解度等	溶媒	溶解度	溶媒中の安定性
	メタノール	6.6×10 ³ mg/L	安定
	酢酸エチル	2.3×10 ³ mg/L	安定

2. 試験方法

試験方法	化学法ガイドラインおよびOECD Guideline for Testing of Chemicals 301C		
暴露期間(日)	28日		
汚泥の種類	標準活性汚泥 平成21年1月15日受け入れ(ロットNo.S-141)		
被験物質濃度	100mg/L		
汚泥の懸濁物質濃度	30mg/L		
pH調整	有・(調)		

3. 試験結果

(1) BODチャート

*別紙としても送り、

Fig. 1 Chart of BOD 参照

(2) BOD測定結果

試験容器	測定日			
	7日目	14日目	21日目	28日目
[水+被験物質]系	0.0	0.0	0.5	0.8
[汚泥+被験物質]系	No.1	2.4	4.6	5.7
	No.2	2.3	4.5	5.7
	No.3	2.6	4.8	5.9
[汚泥+アニリン]系	50.4	64.7	67.5	69.1
汚泥ブランク系	2.0	3.5	4.6	5.6

(3) 測定結果 (28日後の値)

測定項目	[汚泥+被験物質]系				仕込み 理論値
	No.1	No.2	No.3	[水+被験 物質]系	
BOD *	mg	0.8	0.8	1.1	0.8
DOC *	mg	—	—	—	—
被験物質 残留量及び残留率 (HPLC)	mg	30.0	30.0	30.0	30.0
	%	100	100	100	100

*1: [汚泥+被験物質]系は汚泥ブランク系の値を差し引いて表示した。(負の値の場合は0.0とした。)

(4) 分解度

	[汚泥+被験物質]系			平均値
	No.1	No.2	No.3	
BOD分解度	%	1	1	1
DOC分解度	%	—	—	—
被験物質分解度 *2	%	0	0	0

*2: HPLC測定結果から下式により算出した。

([水+被験物質]系残留量 - [汚泥+被験物質]系残留量) / ([水+被験物質]系残留量) × 100

4. 回収率 (平均値)

[水+被験物質]系回収率	%	100
[汚泥+被験物質]系回収率	%	99

5. 考察

* 可能な限り、本試験結果の考察（本試験結果の生分解性について）を記載してください。
 * 特に変化が生じた場合には物質名等について記載してください。
 28日間の分解度試験の結果、分解度は、BOD測定において平均1%、HPLC測定において平均0%であった。
 以上の結果より、被験物質は微生物等により分解されないと考えられる。

6. その他

試験実施施設	富士フイルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター
所在地	神奈川県南足柄市中沼210 電話 0465 (73) 7440 FAX 0465 (73) 7975
試験責任者	職氏名 _____ 経年数 13年
試験番号	B-005/08004
試験期間	平成21年1月23日 から 平成21年3月16日 まで

作成責任者	富士フイルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部
氏名	_____

Study No. B-005/08004 (Test item J-08-030)
 Cultivating conditions:
 Concentration
 Test item 100 (mg/L)
 Reference item (aniline) 100 (mg/L)
 Activated sludge 30 (mg/L)
 Temperature 25 ± 1 °C
 Duration 28 days (Jan.29 - Feb.26,2009)
 Note:

Vessel No.	Sample Description	BOD (mg)					
		7th day	14th day	21st day	28th day		
[1]	Sludge + test item	2.4	4.6	5.7	6.4		
[2]	Sludge + test item	2.3	4.5	5.7	6.4		
[3]	Sludge + test item	2.6	4.8	5.9	6.7		
[4]	Water + test item	0.0	0.0	0.5	0.8		
[5]	Sludge + aniline	50.4	64.7	67.5	69.1		
[6]	Control blank [B]	2.0	3.5	4.6	5.6		

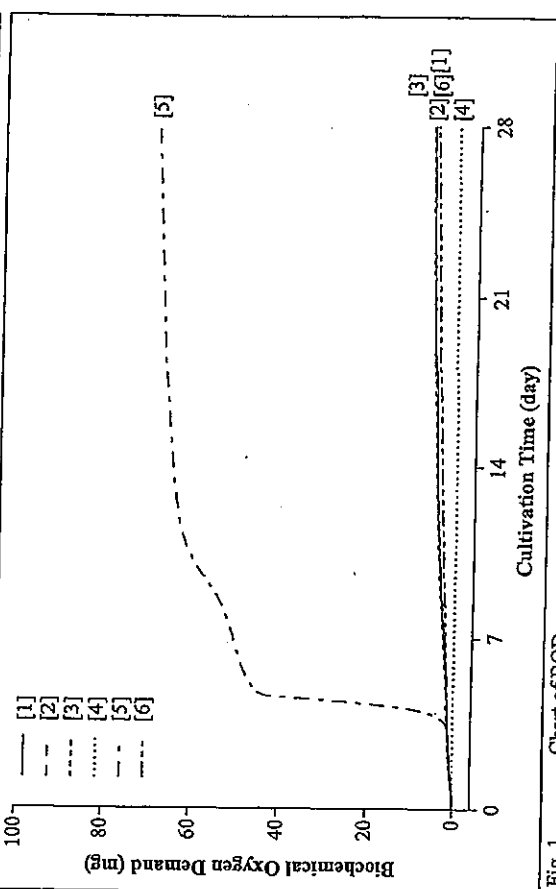


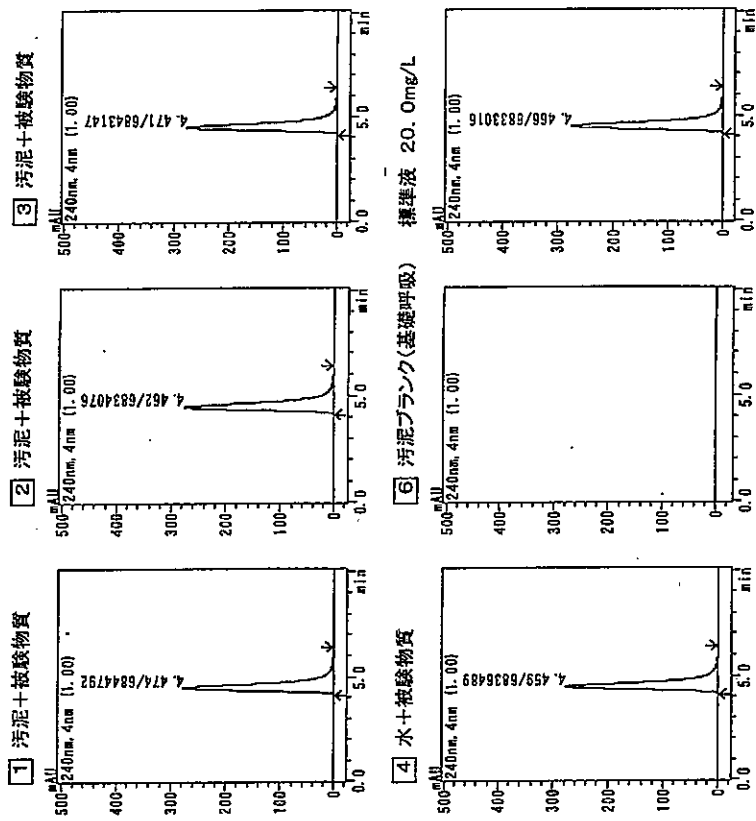
Fig. 1 Chart of BOD.

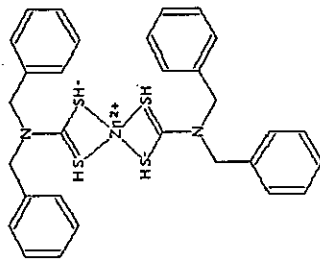
Name _____

Fig. 4 培養終了後のHPLCチャート

被験物質No.: J-08-030
 バッチNo. : 3EORB

測定日: H21. 2. 26.
 測定者:



整理番号 3-2185 (K-1841)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
亜鉛=ビス(N,N-ジベンジルジチオカルバマート) (CAS:14726-36-4)	事業対象年度 平成20年度	事業対象年度 平成 年度	契約 年 月 日
	試験期間 H21.1.27~H21.3.16	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 28日間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果	試験結果	試験結果
	間接	間接	間接
	BOD 0% (0,0,0)		
	直接	直接	直接
	HPLC 0% (0,0,0)		
	審査部会 第89回	審査部会 第 回	審査部会 第 回
	平成21年10月23日開催	年 月 日開催	年 月 日開催
	判定案 難分解性	判定	判定
	備考	備考	備考
	1.回収率 (汚泥+被験物質)系 99%		
	2.実施機関 富士フイルム株式会社		
構造式(示性式)・物理化学的性状			
分子式 C ₃₀ H ₂₈ N ₂ S ₄ Zn	分子量 610.23	外観 白色粉末	
純度 100%			
不純物(物質名,含有率)	溶解度(対水,その他) 水:<1.0mg/L 酢酸エチル:2.0×10 ³ mg/L アセトニトリル:1.9×10 ² mg/L		
融点 -	1-オクタノール/水分係数		
沸点 -	-		
密度 -	安定性		
LD50 -	-		
チャートの有無 有・無			
用途 -			
製造及び輸入量(年) -			
試料			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

分解度試験報告書

1. 一般的事項

新規化学物質等の名称 (IUPAC 命名法による)	亜鉛二ヒス (N, N'-ジベンジルジチオカルバマート)	
別名		
CAS 番号	14726-36-4	
構造式又は示性式 (いずれも不明な場合は、 その製法の概要)		
分子重量	610.23	
試験に供した新規化学物質の純度 (%)	103.6%	
試験に供した新規化学物質のロット番号	ALP6986	
不純物の名称及び含有率 (%)	なし	
蒸気圧	データなし	
対水溶解度	1.0mg/L未満	
1-オクタノール/水分配係数	データなし	
融点	データなし	
沸点	—	
常温における性状	白色粉末	
安定性	室温安定	
溶媒に対する溶解度等	溶媒	溶解度
	アセトニトリル	1.9×10 ² mg/L
	酢酸エチル	2.0×10 ³ mg/L
	溶媒中の安定性	安定
		安定

2. 試験方法

試験方法	化学法ガイドラインおよびOECD Guideline for Testing of Chemicals 301C	
暴露期間 (日)	28日	
汚泥の種類	標準活性汚泥 平成21年1月15日受け入れ (ロットNo.S-141)	
被験物質濃度	100mg/L	
汚泥の懸濁物質濃度	30mg/L	
P.H調整	有・無	

3. 試験結果

(1) BODチャート

*別添としても良い。

Fig. 1 Chart of BOD 参照

(2) BOD測定結果

試験容器	測定日	BOD (mg)					
		7日目	14日目	21日目	28日目		
[水+被験物質]系	No.1	0.0	0.3	0.6	1.0		
	No.2	1.8	3.9	5.1	5.9		
	No.3	1.8	4.0	5.2	6.0		
[汚泥+被験物質]系							
[汚泥+アニリン]系		52.4	68.0	69.9	71.0		
汚泥ブランク系		2.2	4.1	5.2	6.2		

(3) 測定結果 (28日後の値)

測定項目	[汚泥+被験物質]系			仕込み 理論量
	No.1	No.2	No.3	
BOD *1	0.0	0.0	0.0	68.4
DOC *1	—	—	—	—
被験物質 残留量及び残留率 (PLC)	29.7	29.6	29.7	30.0
	99	99	99	99

*1: [汚泥+被験物質]系は汚泥ブランク系の値を差し引いて表示した。(臭の値の場合は0.0とした。)

(4) 分解度

	[汚泥+被験物質]系			平均値
	No.1	No.2	No.3	
BOD分解度	0	0	0	0
DOC分解度	—	—	—	—
被験物質分解度 *2	0	0	0	0

*2: PLC測定結果から下式により算出した。

([水+被験物質]系残留量 - [汚泥+被験物質]系残留量) / ([水+被験物質]系残留量 × 100)

4. 回収率 (平均値)

[水+被験物質]系回収率	%	98
[汚泥+被験物質]系回収率	%	99

5. 考察

*可能な限り、本試験結果の考察（本試験結果の生分解性について）を記載してください。
 *特に毒性物質を生じた場合は毒性試験等について記載してください。
 28日間の分解度試験の結果、分解度は、BOD測定において平均0%、HPLC測定において平均0%であった。
 以上の結果より、被験物質は微生物等により分解されないと考えられる。

6. その他

試験実施施設	富士フイルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター
所在地	神奈川県横浜市中区210 電話 0465 (73) 7440 FAX 0465 (73) 7975
試験責任者	職氏名 _____ 経験年数 13年
試験番号	B-005/08005
試験期間	平成21年1月27日 から 平成21年3月16日 まで

作成責任者	富士フイルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター
氏名	_____

Study No. B-005 08005 (Test item, J-08-031)

Cultivating conditions:

Concentration _____
 Test item 100 (mg/L)
 Reference item (aniline) 100 (mg/L)
 Activated sludge 30 (mg/L)
 Temperature 25 ± 1 °C
 Duration 28 days (Feb.3 - Mar.3,2009)
 Note:

Vessel No.	Sample Description	BOD (mg)			
		7th day	14th day	21st day	28th day
[1]	Sludge + test item	1.8	3.9	5.1	5.9
[2]	Sludge + test item	1.8	4.0	5.2	6.0
[3]	Sludge + test item	1.8	4.0	5.2	6.0
[4]	Water + test item	0.0	0.3	0.6	1.0
[5]	Sludge + aniline	52.4	68.0	69.9	71.0
[6]	Control blank [B]	2.2	4.1	5.2	6.2

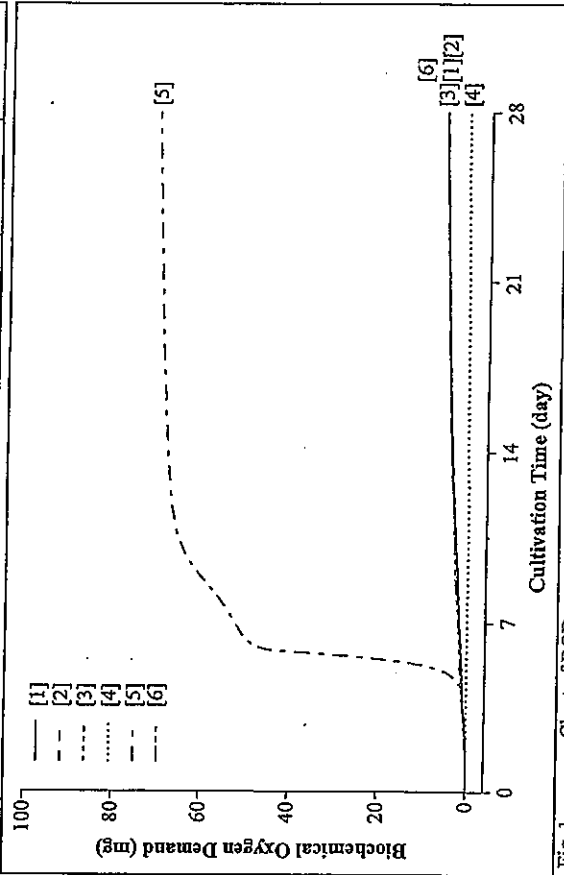


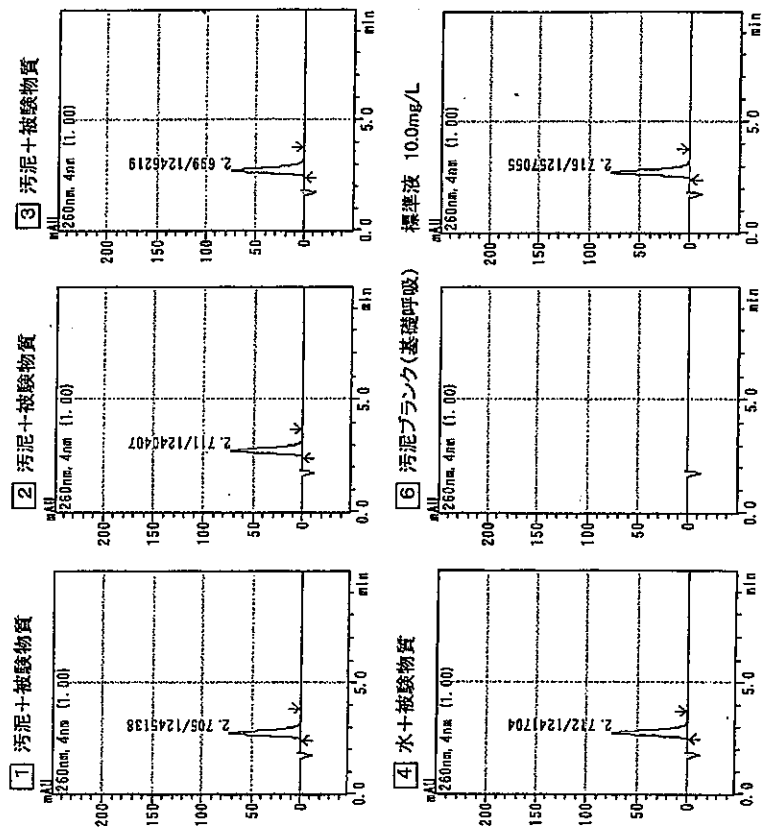
Fig.1 Chart of BOD.

Name : _____

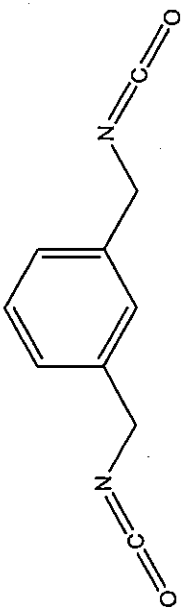
Fig. 4 培養終了後のHPLCチャート

被験物質No.: J-08-031
 パッチNo. : ALF6986

測定日: H21. 3. 3
 測定者:



B-005/08005

整理番号 3-2216 (K-1488)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
1, 3-ビス(イソシアナトメチル)ベンゼン (CAS:3684-83-1)	事業対象年度 平成20年度 試験期間 H20.8.21~H21.3.30 試験装置 (標)・揮	事業対象年度 平成年度 試験期間 . . . ~ . . . 試験装置 標・揮	契約 年 月 日 試験期間 . . . ~ . . . 試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	被験物質 mg/L 汚泥 mg/L
	本試験期間 28日間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
分子式 C ₁₀ H ₈ N ₂ O ₂ 分子量 188.18	試験結果 間接 BOD 0% (-1, -2, -2) 直接 GC >99% (>99, >99, >99)	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度 99.7%	外観 無色透明液体	審査部会 第89回 平成21年10月23日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物(物質名, 含有率) —	溶解度(対水, その他) 水: <100mg/L	判定案 難分解性	判定 備考
融点 -25~-20℃	1-オクタノール/水分配係数 —	備考 1. 回収率 (汚泥+被験物質)系 88% 2. 被験物質は全量構造変化し、m-キシリレンジアミン(8-308、難分解性、高濃縮性でない)が28~30%生成している。それ以外の変化物としては2量体の尿素誘導体とその末端が生分解されカルボン酸となった化合物及び高分子性の尿素誘導体が生成している。	判定 備考
沸点 —	安定性 —	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
密度 —	—	判定 備考	判定 備考
LD50 —	—	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
チャートの有無 有・無	—	判定 備考	判定 備考
用途 —	—	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
製造及び輸入量(年) —	—	判定 備考	判定 備考
試料	—	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
経済産業公報発表年月日	—	判定 備考	判定 備考
年月日	—	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催

要約

表題

XRIの分解度試験 (試験番号：A080313)

試験方法

「新規化学物質等に係る試験の方法について<微生物等による化学物質の分解度試験>」
 (平成15年11月21日 薬食発第1121002号, 平成15・11・13製局第2号, 環保企発第031121002号, 最終改正：平成18年11月20日)

(試験の構成)

- No.1 : 分解活性確認系 (アニン+汚泥+基礎培養基)
 - No.2 : 汚泥基礎呼吸系 (汚泥+基礎培養基)
 - No.3, 4, 5 : 被験物質の分解系- 1, 2, 3 (被験物質+汚泥+基礎培養基)
 - No.6 : 水中安定性系 (被験物質+精製水)
- (被験物質およびアニン濃度：100 mg/L, 汚泥濃度：30 mg/L)

(測定項目)

閉鎖系酸素消費量測定装置による生物化学的酸素消費量(BOD)の測定 (28日間)
 全有機炭素計による総有機炭素(DOC)の測定 (28日後)
 ガスクロマトグラフによる被験物質残留量の測定 (28日後)

測定結果 (28日後の値)

測定項目	被験物質の分解系			水中安定性系	仕込み理論量
	1	2	3		
BOD, mg ^l	-0.6	-1.4	-1.1	0.1	66.3
DOC, mg ^l	8.4	8.6	8.5	5.4	19.1
被験物質, mg	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	30.0

*1 被験物質の分解系の値は汚泥基礎呼吸系の値を差し引いて表示する

28日後の分解度

分解度	被験物質の分解系			平均値	水中安定性系
	1	2	3		
BOD分解度, %	0(-1)*2	0(-2)*2	0(-2)*2	0	---
DOC分解度*3, %	NA	NA	NA	---	---
被験物質残留量からの消失率*1, %	>99	>99	>99	>99	>99

*2 分解度の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す

*3 被験物質が真の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す

*4 水中安定性系で仕込み量の90%未満となったため、被験物質残留量からの分解度は算出せず、消失率を示す

考察

- ・ 28日後のBOD分解度は全て0%、被験物質残留量からの消失率は全て99%以上であったことから、被験物質は難分解性であり、全量が構造変化したと判断した。
- ・ 構造変化物分析の結果、*m*-キシリレンジアミンが28~30%生成したと判断した。また、*m*-キシリレンジアミン以外の構造変化物としては、2置体の尿素誘導体とその末端が生分解を受けカルボン酸となった化合物が20%程度、その他は水・溶媒不溶の高分子性の尿素誘導体が生成したと考えられる。

